

【事前アンケート結果 2015.11】

地域連携について

●地域の緩和ケア連携に関する取り組みについて (そう思う, とてもそう思うと回答した施設)

H27(n=50)

n (%)

地域の他の職種の役割を把握している

32 (64.0)

地域の多職種で会ったり話し合う機会がある

32 (64.0)

退院前カンファレンスなど病院と地域との連携がよい

27 (54.0)

がん患者に関して地域に相談できるネットワークがある

26 (52.0)

地域のリソースが具体的に把握している

24 (48.0)

地域の他の施設の医療福祉従事者と気軽にやりとりができる

20 (40.0)

緩和ケアに関する地域内の連携がよくとれている

20 (40.0)

地域の関係者の名前と顔・考え方を把握している

16 (32.0)

【事前アンケート結果 2015.11】 地域連携について：自由回答

地域連携に関する工夫

- 連携病院へのアウトリーチによる研修実施やカンファレンスへの参加（神奈川，愛知）
- 地域の医療機関の施設見学による交流や情報交換（大阪，高知）
- 地域の在宅診療所とカルテ情報の共有（がん研，神奈川）
- 在宅療養導入時に、地域の介護職へ情報提供を目的とした「在宅緩和ケアシート」の運用（高知）
- 地域の在宅療養支援機関の情報マップを年2回発行（青森）